

新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
令和 7 年度 新潟県 DWAT 災害福祉支援セミナー
開催要項

＜新潟県委託事業＞

1 趣 旨

新潟県では、新潟県内及び県外での災害時において、一般避難所等で被災者の福祉ニーズに的確に対応し、必要な福祉的支援を行う「新潟県災害派遣福祉チーム（新潟県 DWAT）」を組織化し、災害時要配慮者の支援体制整備を目指しています。

そこで、本セミナーでは、過去の災害で派遣実績がある県外・県内の災害派遣福祉チーム員の報告から、災害派遣福祉チームの具体的な活動内容を学びます。

2 主 催 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（事務局：新潟県福祉保健部福祉保健総務課）
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会（業務一部受託者）

3 日 時 令和 7 年 12 月 8 日（月） 13：25 ～ 16：50

4 会 場 新潟ユニゾンプラザ 4 階「大会議室」（新潟市中央区上所 2-2-2）

5 開催方法 集合 80 名（先着順で定員に達し次第申込みを締め切らせていただきます）

6 受講料 無料

7 対象者 ・社会福祉法人・社会福祉施設等に勤務する者や福祉専門職。
・DWAT 登録予定者・DWAT チーム員 ・市町村社会福祉協議会職員
・市町村福祉部局/防災部局職員行政職員 ・保健師等

8 内容等 プログラムは裏面参照

9 申込方法

- ・下記 URL から 11 月 21 日(金)までにお申し込みください。ただし、申込が定員を超えた場合は、上記期限を待たずに締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ・申込み後、受講承認通知(メール)をお送りしますので、内容を必ずご確認ください。

（申込フォーム） <https://forms.gle/iy8YQrN9NZ4KA8Bv6>

10 その他

- (1) 会場の駐車場は、催事により混み合い駐車できない場合もございますので、ご来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (2) 申込み時の個人情報、本研修の運営管理と本事業に関する業務にのみ使用いたします。

11 問合せ先・書類提出先

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会（業務一部受託者）
950-8575 新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 3 階
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 福祉人材課 「新潟県 DWAT 災害福祉支援セミナー」宛
TEL：025-281-5526 E-mail：n-saigainet@fukushiniigata.or.jp

【プログラム】

時 間	内 容・講 師
13:10～ 13:25	受付
13:25～ 13:30	オリエンテーション
13:30～ 13:40	主催者挨拶 新潟県福祉保健部福祉保健総務課（新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会 会長） 課長 山田 奈麻美
13:40～ 15:20 (各 20 分)	【実践報告】 「災害における福祉支援コーディネーション」 ～令和 6 年能登半島地震における支援者の具体的活動から学ぶ～ 「コーディネーター」 office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏 「実践報告者」 ①「ぐんま DWAT の活動」 社会福祉法人三山黎明会 理事・サニーズマーケット管理者 石倉 敦也 氏 ②「新潟県 DWAT の活動」 新潟県地域生活定着支援センター センター長 丸田 明久 氏 ③「保健師(新潟県 DHEAT)の活動」 新潟県福祉保健部 参事 堀井 淳一 氏 ④「新潟県 DMAT の活動」 新潟県福祉保健部地域医療政策課医療企画班 主任 江部 健人 氏 ⑤「新潟県 DPAT の活動」 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 南 1 病棟 副看護師長 日本 DPAT DPAT インストラクター 佐藤 暁 氏
15:20～ 15:30	休憩
15:30～ 16:50 (80 分)	【講義】 「災害救助法の改正とこれからの DWAT 活動」 office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏 ☞社会福祉従事者が災害時に求められること ☞災害救助法改正に伴う災害福祉の新たな展開、福祉避難所の運営について等
～16:50	閉会

園崎 秀治（そのざき しゅうじ）氏

- ・ Office SONOZAKI 代表
 - ・ 1994 年、早稲田大学教育学部を卒業、社会福祉法人全国社会福祉協議会に入職。
 - ・ 1999 年、台湾中部大震災（死者 2,415 人、行方不明 29 人）支援のため 2 度現地入り。
 - ・ 2005～12 年、14 年～18 年 ボランティアセンターの災害担当として、災害発生時に先遣として現地入りし、全国段階での支援の要否確認に入る役割を担ってきた。
 - ・ 立ち上げた saigaivc.com は、災害ボランティア活動の情報発信の中心として定着した。
 - ・ 訪問した災害ボランティアセンターの数は 150 を数える。
 - ・ 11 年にわたって、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援 P）による災害ボランティアセンターの運営を支援する支援者派遣の調整を担う。
 - ・ 災害時には、各方面の関係者をつないで協働を推進、支援が円滑に行われるよう働きかけを行ってきた。
 - ・ 東日本大震災では自らの住む浦安市も液状化で被災する。
 - ・ 2021 年、27 年勤めた社会福祉法人全国社会福祉協議会を退職。より柔軟に、より積極的に全国各地の防災・減災活動支援、被災地支援に貢献すべく、独立。
- 被災地支援の三原則（被災者中心、地元主体、協働）を旨とする「Office SONOZAKI」として活動を開始している。